

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月9日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100560		
法人名	有限会社 M&Y		
事業所名	グループホーム 鶴ヶ岱		
所在地	北海道釧路市鶴ヶ岱3丁目7番6号 (電話) 0154-41-4165		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月9日	評価確定日	平成21年4月30日

【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年5月25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	11 人
職員数	14 人	常勤 13人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.4人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋3階建 造り		
	3階建ての 1 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 ~ 13,000 円
敷金	(有) 60,000 円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 60,000 円 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 円 1ヶ月 25,000 円		

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	11 名	男性 1 名	女性 10 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	3 名	要支援2	
年齢	平均 85.5 歳	最低 74 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	釧央脳神経外科病院、島津歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者は利用者本位の介護を目指し、職員に徹底できるように会議などでも話し合いを行っている。職員は介護支援専門員に合格したり、介護福祉士を目指すなど意欲的で職員間の意思の疎通もよい。午後からは天気が悪くなれば日課として散歩をし、急な外出の希望にも対応できるようにしている。運営推進会議には町内会から7名の方たちがご参加くださり、地域との交流も盛んに行われるようになっている。行事などでのお互いの協力体制のほか、近隣での散歩の途中で、畑でとれた野菜をいただくなど日常的なかかわりも増えてきている。また、管理者は町内会の役員も引き受け、住民の方から介護の相談をされるなど、地域の中でホームの存在が認知されてきている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で提案があった運営推進会議については、今年度は定期的に行われている。終末期のあり方については、24時間対応の往診医の確保は難しいものの、職員間では方針が共有され看取りも行った。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価は約一ヶ月をかけ、全ての職員に自己評価表に目を通してもらい、気がついたことを記入してもらって作成している。今後も利用者にあわせた介護を目指し、外出支援に力を入れていくことを確認している。評価結果については運営推進会議などでも報告をしている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議は、ホームと法人からの出席者以外に、町内会から7名、特別養護老人ホーム園長、地域包括支援センター所長、訪問看護ステーション所長、家族会2名が参加し約2ヶ月に一度開催されている。主な議題は町内会合同防災訓練 行事予定・行事報告について 自己評価・外部評価の報告 家族会主催交流会
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族会があり意見交換が行われているほか、家族会主催の行事なども行われている。運営推進会議にも家族会の会長、副会長が参加してくださって話し合いが行われている。来訪時や電話などでも意見要望を聞く機会を設け運営に反映させている。ホーム内には外部の苦情相談窓口が記載されたポスターが貼られている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に入会し、役員も引き受けている。町内会の行事(春採湖湖水祭りなど)の際はホームから手伝いに行き、ホームの行事の際にも町内会に声を掛け合えるようになっている。ホーム周辺の散歩を日課とし、近隣の方に声をかけていただけるようになっている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員が話し合っつてつくった理念の中に「家族、地域と共に支え合う生活」を掲げ、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、会議時ばかりではなく日常のケアの中で理念を達成できるよう話し合い、実践を重ねている。また、共用空間にも掲示をしてあるほか、生活記録のファイル台帳にも貼付している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入会し、役員も引き受けている。ホーム周辺の散歩を日課とし近所の方たちにも声をかけていただけるようになっている。定期的にボランティアに来てくださる方たちもいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われている。自己評価表には全員に目を通してもらい、一ヶ月ほどをかけて書き込みを行ってもらっている。自己評価・外部評価の結果は運営推進会議などでも報告され具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には町内会から会長、副会長、総務部長、民生委員、シニア部長、婦人部長、会計監査、特養園長、東部北包括支援センター所長、釧路町訪看所長、家族会から会長、副会長、法人から社長、ホーム長、主任、介護員が参加し取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者との連携の重要性については十分に理解し、管理者が必要時にその都度市役所に出向いて担当者と話しあっている。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一回「鶴ヶ岱通信」と共に、金銭出納帳のコピー、領収書を添えて近況報告をしている。写真を同封することもあり、ご家族が気に入った写真は年賀状に使用されたり、遺影にされたものもある。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には家族会からお二人が参加されている。家族会も開催され話し合いがされている。法人の苦情相談窓口は重要事項説明書に明示され、外部の苦情相談窓口も共用空間に掲示している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が辞める約半月前には新しい職員を採用し、利用者にも慣れてもらうようにしている。新入職員は以前からいた職員と意思の疎通を図り、必要なことを教えてもらいながら介護にあたっている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修にはなるべく多くの職員が参加できるようにし、報告書を書いている。行けなかった職員には伝達研修を行っている。職員の研修に対する意欲も高く、今年度の介護支援専門員合格者や介護福祉士受験を目指す方たちもいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交換研修や訪問研修などを行っている。包括ケア会議などにも参加し質の向上の取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族と共に本人にも来ていただきお茶を飲んだり一緒に歌を歌うなど、他の利用者とかかわれるようにしながら場の雰囲気に慣れていただくよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握するよう努めている。調理の助言をしていただいたりできることを積極的にしていただきながら本人と共に支えあう関係構築に努力している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	公園でご飯を食べたい、行きたいお店があるなどその時々希望の把握に努め、実現できるようにしている。ご家庭で習慣にされていた漢字の書き取りや年賀状書き、初詣など年中行事なども行い、センター方式を活用し、生活歴からの検討も行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時から本人やご家族から聞き取りなどをし、センター方式にも詳細に記入している。介護計画はセンター方式や前回評価を参考にしながら約一か月をかけて検討している。作成時には更に本人、ご家族の意向を確認し介護支援専門員の適切な監理のもとに会議で話し合っている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別のファイルに介護計画に基づいた記録を書く欄を作り記載している。身体的状況、状態変化があり、変更の必要がある場合には現状に即した介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族が対応できない場合の通院介助、突然の外出希望などにも柔軟に対応できるようにしている。町内会の会議にも参加し、認知症ケアの啓発に努めたり地域の方からの認知症についての相談にも対応している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居前からのかかりつけ医にそれぞれかかっている。医療連携体制がとられている訪問看護ステーションからは運営推進会議にも出席されて協力体制がとられている。内科・歯科の往診も行われ、看護師資格を持つ職員も配属されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方については、職員間で共有し、看取りも行った。予測されるリスクについてはその都度ご家族にお伝えしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけが行われている。記録等の個人情報は決められた取り扱いを守っている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「鶴公園に行きたい」「海を見に行きたい」「自分の家を見に行きたい」など利用者一人ひとりの思いを把握して外出、買い物、ドライブなどできる限り突然の外出希望などにも添えるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、献立は希望を聞いてたてている。お節料理など季節感を感じられるような料理も職員、利用者が皆で分担して手作りするようにしている。普段から料理の下ごしらえや配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜間入浴も検討されたが、ご希望の方がなく、現在は行われていない。お一人おひとりが希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるよう職員間での意思の疎通を図っている。週に2～3回は入ることができるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	縫い物、習字、コゴミの下処理、フキの皮むき、ビニールハウスでの収穫、水やり、カラオケ、洗濯物たたみ、調理の準備などそれぞれの方の役割や楽しみ、気晴らしができるように支援されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	悪天候でなければ寒くなっても午後からの散歩を日課にしている。食材の買い出しにはほとんど毎日一緒に出かけている。昆布森、恋問館、海を見にドライブに行くなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一人ひとりの様子を見て外出を予見している。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されている。日中は鍵をかける弊害を理解し、鍵はかけていない。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼夜を想定し、年に2回避難訓練を実施し、町内会の方も参加してくださっている。2階の利用者には全員避難階段を利用しての避難を体験してもらっている。夜間緊急時には3階の住人が協力してくださる体制ができている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方については食事量や水分量が記録され、一回の食事が必要量を撮ることができない方には一日を通じて摂取できるよう支援されている。また、嚥下状態などに合わせての支援も実施されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁には行事・外出時などに撮られた写真や利用者が書いた習字などが飾られている。節分、ひな祭り、紅葉、クリスマスなど季節に合わせての飾り付けもされ居心地よく過ごせるよう工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には温度計を設置している。仏壇、お位牌、遺影のほか、使い慣れたタンスや椅子、ベット、ご家族の写真などが持ち込まれ居心地よく過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。